



「皆」

さんは母校の校歌を歌えますか？ 船田さんが53校の校歌を

まとめた「安佐地内の校歌集」（小中学校編）があれば母校の校歌を口ずさめるかもしれませんよ。

船田さんが市内の学校の校歌をまとめ、後世に伝えようと思ったきっかけは、生まれ育った常盤地区の納涼祭で踊る「常盤音頭」と「羽鶴小唄」のルーツをたどり「常盤音頭・羽鶴小唄誕生物語」を執筆する際に、この二つの歌が地域に住む人によって受け継がれている素晴らしいものだと感じたことにあるようです。そして「廃校になった校歌もこの二つの歌のように後世に伝えなければならぬ大切なものではないのか」という思いが強くなり、2015年ごろより市内の校歌の調査が始まりました。

しかし、廃校になった学校の記録をたどり、卒業生を探して歌っていただき、

後世に伝えたい大切な歌

友人の協力を得て楽譜を起こす作業にはご苦労があったそうです。

幾多の苦難を乗り越え、今年6月に念願の校歌集を完成させ一区切りついた船田さんですが、唯一の心残りは、昭和45年に梅田ダムの湖底に沈んでしまった入飛駒小・中学校の校歌だけを、何の手掛かりもなく掲載できなかったことだそうです。

船田さんの地元に対する思いは「校歌集」完成後も続いており「次は市内の昔の写真を集め『目で見る佐野の歴史書』などの編集に取り組むことができたら幸せです」と目を細めていました。この制作には、多くの昔の写真が必要となるため、市民の皆さんのご協力をお願いしたいとのことでした。

取材を終えて、船田さんがどうしても入手できなかった入飛駒小・中学校の校歌の情報提供を市民の皆さんにお願いできないかと考えました。皆さんがご持ちの情報で54・55校目の校歌が掲載となることを期待しています。

（市民記者 中里聖子）

キラリ話題の人

船田 実さん

まちづくり葛生株式会社事務局長
保護司
学校地域コーディネーター



▲編集作業中の船田さん

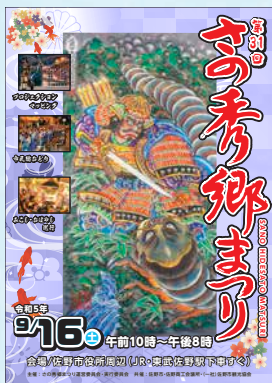
ようこそ 市長室からこんにちは！

エネルギー、食料品など、目に見えて価格が上昇しています。物価高騰は日常生活にも大きな影響を与えています。そういった市民の皆さまや市内の事業者を支援するため「プレミアム付商品券」の発行・販売および「キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン」を実施します。この「広報さの」と同封するチラシにプレミアム付商品券の購入引換券がありますので、ご活用ください。

さて、今月16日には4年ぶりに「さの秀郷まつり」が開催されます。開催については、さの秀郷まつり運営委員会の皆さまによく検討していただき、開催日程を2日間から1日に短縮、時間も午前中から開催とし、開催時期も暑い8月を避け、9月に変更しました。以

前の開催時に大いに盛り上がりを見せておりました、みこし・おはやし巡行や市民総おどりに加え、今回初めて実施する、市役所の建物をスクリーンとして映し出すプロジェクションマッピングが目玉となっております。私も市長になって初めてのさの秀郷まつりですので、大変楽しみにしております。市民の皆さんもリニューアルされた、久しぶりのさの秀郷まつりを大に楽しんでください。

佐野市長
金子 裕





どこにあるかな？ 街中アートを探してみよう

移動中、目に飛び込んでくる壁画、驚きと笑顔をもらえる街中アートを紹介します。

高萩町の美容院アクセル・エルヴェは、おしゃれな装飾が店内外にいくつもあります。レストランと間違えられることもあるそうです。

巨大ないもフライとカエルが描かれているのは、消防本部の東隣にある家族商店の壁です。カエルの名前はアゲ。「アゲが揚げ物を持っている」というシャレになっているそうです。

犬伏新町の元相良設備店の倉庫の壁にはバンクシー作品「風船と少女」「傘をさす鼠」が登場。汚れた倉庫を白く塗ったら、何か描きたくなり、初チャレンジしたそうです。

どれも傑作なので、ぜひ見ていただきたいです。皆さんも街中でアートを探してみませんか。
(市民記者 高松伸子)



①アクセル・エルヴェ
②家族商店
③元相良設備店



藍草作りが約100年ぶりに復活！ 佐野藍復活プロジェクト

本市は江戸時代から藍染めの原料である藍草の産地でしたが、化学藍の導入により明治後期に生産が途絶えてしまいました。しかし、平成24年に市民有志で立ち上げた「佐野藍復活プロジェクト」によって約100年振りに復活し、現在、下彦間町などで生産活動が続いています。

7月26日(水)下彦間町の藍農家・藍師小竹利美さんの畑で、ボランティアの協力を得て、藍草の刈り取りが行われました。

収穫した葉を発酵させた藍染めの染料である「すくも」は、現在では全国に出荷されています。



暑い佐野、熱中症に注意！ 熱中症対策温度計設置除幕式

7月30日(日)、佐野駅前交流プラザぱるぼーとにて、熱中症対策温度計設置除幕式が行われました。

佐野市が国内最高気温を記録する日が多いことから、市民や来訪者に対し熱中症への注意喚起を行うことを目的に、温度計を本市の玄関口である佐野駅前交流プラザぱるぼーと前に設置しました。

また、この温度計の設置に当たっては、株式会社栃木こすもす様からの寄付金を活用しています。